

「今週の1枚」



クズ （マメ科）

日本と中国大陸の暖温帯・冷温帯に分布する多年生のつる植物。花は秋の七草の一つとして古くから親しまれている。裸地の崩壊や表土の流出を防ぎ、根は葛粉、茎は葛布の原料となる有用植物であるが、樹木と森林の大敵でもある。

日本のクズがアメリカに渡ったのは、合衆国建国百年記念祭に招かれた日本政府がペンシルバニア州フィラデルフィアに日本庭園を作った1876年のことである。そこで、クズの大きな葉と甘い香りのある花が園芸家たちの興味を引いた。1930～40年代に、土壤保全局が侵食防止のためにクズの利用を推進し、熱烈な信奉者達からは「奇跡のツル」とまで呼ばれた。その後、勢力を増したクズによる森林の被害が顕著となり、1953年に米国政府はクズの推進を停止、1972年に農務省はクズの雑草化を宣言した。そして、クズによる被害は世界に広がり、国際自然保護連合が一昨年に発表した世界の侵入外来生物ワースト100の陸上植物32種にイタドリと共に指名手配されてしまった。クズ自体に問題があるわけではなく、本来の自生地ではそれ程の乱暴者ではない。不用意に外国の生物を導入した過ちの典型的な事例と言える。

（No.67 2002.9.17 掲載）

Pueraria lobata (Willd.) Ohwi (Legminosae)

Perennial vine, climbing trees in forest edge, spreading sunny ground. This species well known to Americans as Japanese name "Kudzu".